

### 小鳥の森で観察してみよう 86

### ホンドキツネ

分類：ネコ目イヌ科

生態

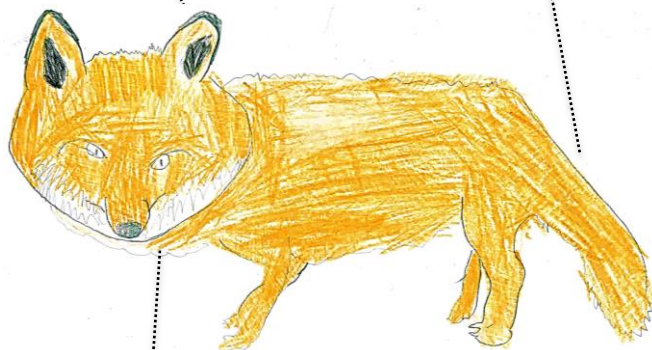
- ・肉食（鳥、ネズミ類）、雑食
- ・夜行性でけいかい心が強い

小鳥の森での観察

- ・ネイチャーセンター周辺
- ・カワセミの小径0-7番

体長：60-90cm

太くて長い尾



とがった口先

たかはし ゆうき

今回の絵は、たかはし ゆうきさん（8さい）が描いてくれました。

## 2月の自然予報

小鳥の森園内のピラカンサやウメモドキなどの赤い実には、毎年ツグミ類やジョウビタキなどの野鳥が食べに集まります。この冬は県内外でツグミ類の数が少ないと言われています。小鳥の森では例年、年明け後には赤い実は野鳥たちに食べつくされてしまいましたが、今年はまだ残ったままです。1月に入り、ようやくトラツグミやヒヨドリが実を食べている様子を確認しました。2月に入っても野鳥が食事をしている様子を観察できると思います。



ピラカンサに来た  
トラツグミ

2月に入ると少し寒さも和らぎ、陽だまりの中では、セイヨウタンポポやオオイヌノフグリなどの早春の花が咲きはじめます。暖かい日には成虫で冬を越すルリタテハやキタテハなどのチョウや、ナナホシテントウなどの昆虫が活動しているのを目にすることもできるかもしれません。また2月下旬になると、棚田ではニホンアカガエルの卵も見られるようになります。いろいろな生き物の気配を感じることができるようになると思います。暖かい日に森を歩いて春を感じてみてはいかがでしょうか。



日光浴するルリタテハ

# 1月の自然

昨年末に降った雪が残り、林内ではいろいろな動物の足跡が目立っていました。それをたどることで、だれが、どこを歩いて、どこに行ったのかなど、雪のないときにはわからない動物の行動を読み取ることができ、雪の中の森歩きをより一層楽しむことができました。

また、ネイチャーセンター周辺では、ニホンリスやホンドキツネなどの動物との出会いも楽しめた1月でした。



ニホンリス

園内では1月中旬ごろ、日の当たる場所ようやく雪がとけはじめました。雪がとけて目に付いたのが、春の訪れをつげ、食用としても利用される「フキノトウ」です。雪どけの進んだネイチャーセンター周辺の水辺でひっそりと芽を出しているのを確認しました。1年で最も寒いと言われる「大寒」を前にして、小鳥の森でも、春の気配を感じることができました。



フキノトウ

## 小鳥の森スタッフだより

### 昆虫の冬ごし

寒さの厳しい冬の間、昆虫たちは春にそなえて冬眠をします。冬眠する昆虫でも成虫・さなぎ・幼虫・卵で越冬するなど種類によってその姿はさまざま。夏に人気のあるクワガタムシはくち木の中で幼虫または成虫の姿で春を待ちます。くち木の中には他にスズメバチやカミキリムシの幼虫も見られます。また、エノキの木の根元の落ち葉の裏にはオオムラサキの幼虫、冷たい水の中ではトンボのヤゴなど種類によって冬ごしする場所も異なります。



オオムラサキ幼虫

(レンジャー ますぶち しょうた )

## 出前講座のご案内

小鳥の森では、福島市内の学校や学習センターなど様々な団体向けに出前講座を実施しています。

森の話や自然素材（放射線量の低い地域や県外からの寄付でいただいたもの）を用いた工作など色々な講座内容を用意しております。季節や人数、活動時間に合わせたプログラムの作成、組み合わせも可能です。

受付は先着順に行っていますので、希望日の2週間前までに電話かFAXにてお申し込みください

(※希望日に予約が入っていた場合、対応できないこともございますので、ご了承ください)。



出前講座の様子

※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。  
詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

\*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2019年2月号No.397 / 企画・発行：福島市小鳥の森 / 日本野鳥の会ふくしま